

上炎 城里首

沖縄・世界遺産、6棟焼く

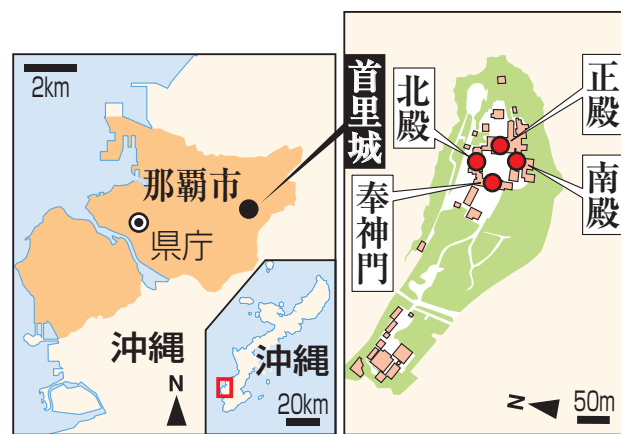
31日午前2時40分ごろ、那覇市の首里城で煙が上がっていると、警備会社から119番があった。正殿などが激しい炎を上げて燃え、主要施設の正殿と北殿、南殿がいずれも全焼するなど6棟計約4200平方メートルが焼失した。周辺住民30人以上が一時避難したが、けが人の情報はなし。市消防局によると、正殿から火が出た可能性が高く、那覇署と出火原因や経緯を調べている。



炎上する首里城の正殿＝31日午前5時ごろ、那覇市(近隣住民撮影)



首里城の正殿＝2014年8月、那覇市



署や市消防局などに

よると、正殿と北殿、南殿はいずれも木造。

近接する「奉神門」や

「書院・鎖之間」も延焼した。今月27日から琉球王国の儀式を再現するイベント「首里城祭」が開かれており、少なくとも30日深夜まで関係者が準備を進めていたが、出火時にはいなかったとみられる。

自動火災報知機が反応し、正殿から煙が上がっているのを近くの事務所に詰めていた警備員が確認した。火の粉が広範囲に舞い、市は災害警戒本部を設置して公民館や小学校計3カ所に避難所を設けた。署などは周辺住民を避難誘導した。市消防局は午前4時すぎから防災無線で住宅への飛び火に警戒するよう呼び掛けた。

那覇市の城間幹子市長は市役所で記者会見し「残念でならない。衝撃を受けている」と語った。

琉球王国の中心地だ

った首里城は太平洋戦争で建物が全て焼失したが、1992年に主要施設が復元された。首里城跡を含む「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」は2000年に世界遺産に登録された。首里城公園は東京五輪の聖火リレーのルートになっている。

琉球王国の中心地だった首里城は太平洋戦争で建物が全て焼失したが、1992年に主要施設が復元された。首里城跡を含む「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」は2000年に世界遺産に登録された。首里城公園は東京五輪の聖火リレーのルートになっている。